

◇ベーク報告の指摘を県内協同組合に活かそう◇

昨年11月にスタートした地域協同組合研究会は、購買生協、大学生協、医療生協、農協、労働者協同組合と幅広い協同組合組織従事者と研究者が参加し、これまで7回の例会を重ね、ICA東京大会の基調報告(ベーク報告)の検討を行ってきました。第7回例会(7月2日開催)では、これまでの研究会での論議のまとめを行ない、今後の進め方を明らかにしました。

◇これまでのまとめと課題◇

ベーク報告は、世界各国の様々な協同組合組織の歴史や実態をもとに、「人類の未来のための協同組合価値」をまとめ、「協同組合の運動の根本にすべき原則」の基本方向を提案する内容となっています。

当初の「なぜ、今ベーク報告の検討なのか?」(当研究会だよりNo1)の問題提起と照らせば、「協同組合の本質である民主主義・参加・主体形成」など多くの課題を検討する上での、いわば「協同組合論」のテキストとしてこの報告を使い、原理論を深めることができたというのが研究会参加者の認識です。しかし、ベーク報告の指摘が今後のそれぞれの協同組合組織と運動にどのように活かされていくかは、自らの協同組合の現実の問題認識から出発するものであり、この視点での検討が研究会に求められているとして、今後の検討課題を整理していくことになりました。

ICA東京大会とベーク報告については、それぞれの協同組合組織で紹介され、いずれも「成功をおさめた」旨の論調が出されています。しかし、ICA東京大会・ベーク報告を受けて、自分達の協同組合がどのように発展していくのか、どのような課題が明確になったのか等については、研究会参加者の中ではほとんど論議の経験がない(紹介を受けた程度)という実状が出されました。組合員の中では、機関紙に記事を掲載したところはあるけれども、これを受けた全体的な討議が組織されたという報告はありませんでした。

ベーク報告は、開催国である日本の協同組合の

分析については「遠慮している」との指摘がなされているということも紹介されましたが、それならばなおさらベーク報告の指摘をそれぞれの協同組合の発展方向に活かしていくために、当初の問題提起にある「鹿児島の協同組合運動の現状認識はどうか。飛躍の中で新たな課題が突き付けられていないか」の検討・分析が必要になってきます。

研究会の例会では、それぞれの協同組合組織の現状や参加者の問題意識が討論・検討の素材として出され合ってきましたが、ベーク報告の検討を進める中での断片的な論議であったために、改めて各協同組合組織の現状と問題意識を研究会参加者でまとめてみることになり、そこから今後の研究会での検討課題を整理して新たな展開の糸口をつかんでいくことになりました。

これまで、今後の検討課題として出されていた事項については、ほぼ以下の点が共通のものとなっています。

- ①参加民主主義の到達状況と課題
- ②従業員参加と協同組合職員論
- ③社会(地域)の中での協同組合の役割

◇次回:第8回例会:7月30日:生協関係から◇
【報告】萩尾さん(コープかごしま)、江夏さん(鹿児島大学生協)、豎山さん(鹿児島医療生協)

(※編集まとめ=「協同の発見」編集部)

※編集部より=各地域での研究会活動、実践活動の通信をお送り下さい。「協同の発見」誌上に掲載して交流をはかります。

協同総合研究所 1992年度決算

(1992年4月1日より1993年3月31日、単位円)

【貸借対照表】

資 産 の 部		負 債 ・ 出 資 の 部	
現 金	185,564	前受会費	80,000
普通預金	12,030,696	出 資 金	13,969,500
郵便振替	4,405,785	前期繰越金	2,579,438
郵便預金	29,044	当期剰余金	7,425,297
定期預金	6,336,425	次期繰越金	10,004,735
立 替 金	586,721		
書籍・図書	480,000		
合 計	24,054,235	合 計	24,054,235

【出資の部の内訳】

	予 算 額	92年決算額	予 算 比	前 期	出資総額
団 体	4,500,000	2,730,000	60.7	5,080,000	7,810,000
個 人	4,500,000	979,500	21.8	5,180,000	6,159,500
合 計	9,000,000	3,709,500	41.2	10,260,000	13,969,500

【収入の部】

予 算 額	92年決算額	予 算 比
36,000,000	38,230,285	106.2

【支出の部】

36,000,000	30,804,988	85.6
------------	------------	------

【当期剰余金】

7,425,297

【収入の内訳】

	予算額	92年決算額	予算比	
1. 会 費				
①団体会費（3万）	1,500,000	928,000	61.9	31団体
②個人会費（1.2万）	4,800,000	2,517,519	52.4	210名分
③学生会費（6千）	300,000	30,000	10.0	5名分
小 計	6,600,000	3,475,519	52.7	
2. 調査研究費				
受託研究費	7,500,000	13,709,700	182.8	事業団計1,000万、いばらきコープ300万
3. 講 演 会				
講演会参加費	500,000	177,000	35.4	計6回のベーク報告シンポジウム
4. 機関誌・出版				
①仕事の発見売上	100,000	79,488	79.5	
②協同の発見売上	100,000	2,500	2.5	
③他年報等	350,000	4,604,309	1315.5	ベーク報告要約版、抄訳版の売上
④書籍等売上	—	183,017	—	出版社等の委託販売
小 計	550,000	4,869,314	885.3	
5. 講 座				
	5,000,000	0	0.0	実施せず

6. 事業団よりの助成			出資250万、受託研究費のうち600万を加え、総額24,276,446円となる。
①一般経費分	3,500,000	3,500,000	100.0
②専従者給与等	12,350,000	12,276,446	99.4
菅野正純、広瀬謙一両名分			
小計	15,850,000	15,776,446	99.5

7. 雑収入	—	222,306	—	利息等
---------------	---	---------	---	-----

収入合計	36,000,000	38,230,285	106.2
------	------------	------------	-------

【支出の内訳】

	予算額	92年決算額	予算比	
1. 調査研究費	4,600,000	4,612,323	100.3	いばらきコープ300万、四国森林調査等

2. 講演会				
謝礼、交通費、会場費	450,000	553,420	123.0	計6回のベーク報告シンポジウム

3. 機関誌・出版				
①所報制作費	2,400,000	1,677,480	69.9	6～10号制作費
②年報等制作費	1,800,000	3,505,304	194.7	ベーク報告要約版、抄訳版制作費
小計	4,200,000	5,182,784	123.4	

4. 講座企画費	2,500,000	0	0.0	実施せず
-----------------	-----------	---	-----	------

5. 組織・会議費				
①組織活動費	600,000	835,849	139.3	全国への派遣費
②会議費	700,000	1,254,263	179.2	理事会等費用
③宣伝費（広告）	200,000	47,016	23.5	
④通信費	1,800,000	1,226,858	68.2	
小計	3,300,000	3,363,986	101.9	

6. 図書購入費	500,000	175,464	35.1	
-----------------	---------	---------	------	--

7. 事務局人件費				
①専従者給与等	12,350,000	12,276,446	99.4	菅野正純、広瀬謙一両名分
②パート、アルバイト	2,500,000	653,600	26.1	佐藤弘子（92年12月より）
③事務局交通費	—	96,440	—	
小計	14,850,000	13,026,486	87.7	

8. 事務所維持費				
①家賃	1,992,000	1,992,000	100.0	

②水光熱費	240,000	193,543	80.6	
③備品	300,000	42,200	14.7	印刷機リース購入せず
④事務用品	120,000	93,816	78.2	
⑤電話料	360,000	249,461	69.3	
⑥コピー、ファックス	480,000	794,087	165.4	印刷機購入しなかったため費用増
⑦その他	50,000	128,325	256.7	
小計	3,542,000	3,493,432	98.6	

9. 書籍支払い — 358,163 — 在庫分あり

10. その他 — 38,930 — 払込手数料等

11. 予備費 2,058,000

支出合計 36,000,000 30,804,988 85.6

協同総合研究所 1992年度監査報告

1993年6月24日

協同総合研究所第3回総会 御中

監事 中田 宗一郎 (印)
野中 郁江 (印)

私たちは、1992年度の協同総合研究所の財務状況及び会計の処理状況について監査を行ないましたので下記の通り報告いたします。

- (1) 監査日 1993年6月24日
- (2) 監査基準日 1993年3月31日
- (3) 監査場所 協同総合研究所事務所
- (4) 立会人 菅野正純専務理事 広瀬謙一事務局長
- (5) 監査の方法

①貸借対照表に記載されている資産・負債・出資について、伝票・帳簿との照合を行ない、確認を行ないました。

②収支報告書に記載された収入・費用について伝票・帳簿との照合を行ないました。

(6) 監査の結果と意見

①会計の処理は適正に行なわれ、正確であることを確認しました。

②当期は、労働者協同組合連合会からの助成金と受託研究収入があり、742万円の剰余がありましたが、次期以降は、この助成金がなくなることをふまえた予算にもとづき、収支の実行に心掛けられることを要望します。